

学力と人格の陶冶

サンホセ日本人学校長 矢野 和彦

子どもたちは、この一年間で大きな成長を遂げました。これも、保護者の皆様・日本人会の皆様の並々ならぬご支援とご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。今号は、学力と人格の関係について述べます。保護者の皆様の願いは、やはりお子様の学力の向上だと思えます。ご承知のように、学力は覚えた知識の多寡で決まるものではありません。また、そのようにして身につけた学力などは、将来ほとんど役に立たないだろうと思えます。

本身に身につけさせたい学力とは、理解した知識を駆使し、自分だけでなく、人のために役立つような力とすることです。その学力を根底から支えているのは、思いやりや親切心という「情操」と我慢をなくすことや根気強さで表される「意思の力」ではないでしょうか。それ故、学力を伸ばそうと思ったら、人としての人格を磨くことが何より大切なことです。日本の教育が、子どもたちの人格の陶冶を目指して行われるのもそのためです。そこで、保護者の皆様には、以下の3つのことが身に付くよう、ご協力をお願いします。

- ① 毎朝、必ず、親にあいさつをする子にする
- ② 親に呼ばれたら、必ず、「ハイ」とはっきり返事のできる子にする
- ③ 履き物を脱いだら、必ず揃え、席を立つたら、必ず椅子を入れる子にする

このような人としての基本ができてさえいけば、子どもたちに自然と思いやりの心が育ち、我慢する力が身につけてきます。その力が、やがて学ぶ意欲となり、学力の向上につながっていくのです。

逆に言えば、この3つのしつけ「あいさつ、返事、始末(整理整頓)」ができない人は、人格の完成もおぼつかないし、学力の向上も期待できないといえます。

「学力を向上させようと思うなら、人格を磨け」ということです。私たち教職員も皆様と共に、子どもたちの能力や才能に応じた鍛錬をさせ、一人一人の花を咲かせることができるように努力し、人格の完成を目指して参ります。来年度も、引き続きご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。

運動会の思い出

一りん車と組みたいそうがんばったよ

小学部二年 加瀬 なおみ

まず一りん車で一・二年をよんで、そして三・四年をよんで、中学生をよんで、さい後にみんなぐるぐるをやりました。つぎに組み体そうです。まずひ行きとしろをしました。あとダンスをしました。ダンスが楽しかったです。よさこいをみんなでおどれてよかったです。

リレーがんばったよ

小学部二年 藤沢 満希

わたしがうんどう会でがんばったことは、リレーではやく走ってなおみちゃんをおいぬいたことです。おいぬかすと赤組の人たちが大きなはく手をしたので気分がよかったです。リレーがおわった時につかれました。リレーでよかったのでよかったです。

一りん車

小学部二年 丸山 雷拳

一りん車で一番がんばったことは、一りん車でぐるぐる回ることです。あとみんなで一れつになってテントへむかいました。お母さんやおばあちゃんのはく手をしてくれました。あとさい後にポーズをして、みんなしゃしんをとってくれました。とてもうれしかったです。

うんどう会がんばったよ

小学部二年 本山 慈久

ぼくは三つがんばりました。一つ目はほうそうです。理由はうでのほねがおれていたからです。二つ目は玉入れです。まけたけど、さい後までがんばりました。三つ目は大玉ころがしです。玉入れい外でできるものがなかったからです。きよ年と今年と赤組がまけたけど、来年はかちたいです。



卒業のことば

もうすぐ卒業

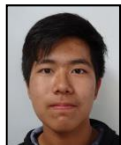
中学部三年 薬師寺 亮太

ぼくは、もうすぐ日本人学校を卒業します。そう思うと九年間があつという間で、残りの一日一日がみんなと過ごせる最後なんだなと思ひ、寂しいです。でも残りの日々を大切に、ずつと残るような思い出にしたいです。今、六年生のみんなと体育館の壁に絵を卒業制作として描いています。保護者や先生方のおかげで制作できているので、最高の作品を作つて学校に残し、卒業したいです。

がんばったぞ六年間

小学部六年 木原 聖徒

僕は一年生からずつとがんばっています。毎日運動したり、家に帰ってちよつと勉強をしたりしました。僕は日本人学校に入った時からいい学校だと思ひました。いろんなものがあつてとっても楽しかったです。でも日本語はぜんぜん分かりませんでした。勉強も難しかったです。でも、みんなの協力でがんばれました。みんなありがとうございました。



六年生もうすぐ終わる

小学部六年 ソホ 愛子

私は今六年生です。運動や勉強など五年生と比べてとても難しくなりました。毎日、漢字を覚えたり、算数が分かるようにがんばりました。今年には児童生徒副会長になりました。とても大きな行事がたくさんありましたが、みんなを引っ張れたと思います。いよいよ卒業が近づいてきました。六年間この学校にいてとても楽しかったです。みなさんと離れてもいつか会えると思います。本当にみなさんありがとうございました。



卒業

小学部六年 黒川 幸太郎

僕は今年でもう小学校を卒業します。思い出せば、たくさん楽しいこと、つらいこと、新しく経験したことがありました。一年生はコロンビアのインターナショナルスクール、二年生は日本の学校、三、四年生と五年生の二期はグアテマラ、五年生の三学期は日本、六年生はコスタリカで過ごしてきました。小学校での思い出を胸にして、中学校へ歩いていきたいです。



思い出の日本人学校

小学部六年 高橋 颯汰

ぼくは、この三年間で、とても記憶に残っていることが二つあります。一つ目は宿泊学習のことです。今年にはサラピキに行きました。最後の宿泊学習だったので、少し寂しかったけど、楽しかったです。二つ目はポロの樹のことです。この三年間、グラウンドを見ると、どの樹よりも目立っていて、ぼくの、先輩的存在でした。今は、なくなっちゃったけど、一緒にいた時間は楽しかったです。サンホセ日本人学校にいた時間楽しかったです。



ただ今、卒業記念の壁画を制作中です。



子ども美術館



帰国職員のことば

ありがとうございました

教諭 高橋 靖彦

爽やかな風、ぬけるような青空、素直で元気な子どもたち、頼れる同僚と先輩職員、温かい人柄のティコの皆さん……。このコスタリカサンホセ日本人学校に赴任できた幸せを今改めて感じています。日本人会の皆さまにも、家族共々、本当にお世話になりました。

全てのことから感謝しています。ありがとうございました。

お世話になりました

教諭 本山 和寿

「コスタリカで生活していたことがうそのようです。」帰国した職員が必ず口にする言葉です。日本での慌ただしい生活がこの言葉に哀愁さえ帯びさせます。私もいずれこの言葉を口にする日が来ると思います。

「コスタリカで生活していたことがうそのようです。……でも、あの三年間があるから、今の自分があります。」そう言えるように、日本でもがんばってみます。

三年間お世話になりました。ありがとうございました。

リサイクルについてのお礼

今回（2月9日（火））のリサイクルの収益金が、14300コロンとなりました。

ご協力ありがとうございました。

<4・5月の行事予定>

- 4月
- 13日（水）入学式・始業式
 - 15日（金）避難訓練
 - 18日（月）身体測定
 - 22日（金）児生会選挙
 - 30日（土）授業参観・PTA 総会
- 5月
- 2日（月）振替休業日（30日分）
 - 5日（木）こいのぼり集会
 - 9日（月）～13日（金）家庭訪問
 - 16日（月）水泳開始
 - 20日（金）児童生徒会総会



パナソニックで電池を作らせてもらいました。